

（第1面）

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 20 日

奈良市長 殿

提出者

住所 奈良県奈良市中町235-1

竹田水道工業株式会社

氏名 代表取締役 竹田 知弘

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0742-46-2955



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹田水道工業株式会社
事業場の所在地	奈良県奈良市中町235-1
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) D08 設備工事業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 元請完成工事高 40000万円
③ 従業員数	14 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 →中間処理業者に委託し、破碎により再生路盤材 金属くず→中間処理業者に委託し、切断及び圧縮 混合(廃プラスチック・繊維くず・廃石膏ボード) →最終処理業者に委託し、埋立処分

（日本工業規格 A列4番）

## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
 本社(ISO委員会)  
 ↓  
 工務課(環境マネジメントシステム管理責任者)  
 ↓  
 工事現場代理人(産業廃棄物管理責任者)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)  適正処理を行い搬出する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  適正処理を行い搬出する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  撤去時に分別し管理 がれき類及び金属くずは現場より搬出
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  撤去時に分別し管理 がれき類及び金属くずは現場より搬出

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	竹田水道工業㈱	担当者氏名	中村 豊人
報告者所属部署	工務課	電話番号	0742-46-2955

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)		(第3面)			(第4面)	(第4～5面)				
		排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (自動計算)	(委託先の区分ごとの処理委託量)				
								優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者	
1 がれき類	前年実績	1,553.85t					1,553.85t					
	計画	800.00t					800.00t					
2 汚泥	前年実績	52.09t					52.09t					
	計画	30.00t					30.00t					
3 木くず	前年実績	0.24t					0.24t	0.24t				
	計画	0.00t					0.00t					
4 金属くず	前年実績	8.13t					8.13t	8.13t				
	計画	5.00t					5.00t	5.00t				
5 ガラスくず等	前年実績	2.70t					2.70t	2.70t				
	計画	0.00t					0.00t					
6 蛍光灯等	前年実績	0.04t					0.04t	0.04t				
	計画	0.00t					0.00t					
7 石綿含有産業廃棄物	前年実績	1.21t					1.21t	1.21t				
	計画	0.00t					0.00t					
8 管理型混合廃棄物	前年実績	3.97t					3.97t	3.97t				
	計画	3.00t					3.00t	3.00t				
9 建設混合廃棄物	前年実績	18.00t					18.00t	18.00t				
	計画	15.00t					15.00t	15.00t				
10	前年実績											
	計画											

(別紙)

